

◆団体基本情報

No.	3	種別	社会福祉法人	団体名	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会		
所在地	〒980-0022 仙台市青葉区五橋二丁目12番2号						
電話番号	022-223-2010		FAX番号	022-262-1948		所管 部局	健康福祉局 社会課
団体ホームページ	https://www.shakyo-sendai.or.jp/						
代表者職氏名	会長 山浦 正井			設立年月日		昭和34年12月18日	
基本財産等		6,000 千円		市の出捐額（割合）		0 千円 （ 0.0 %）	
設立 目的	仙台市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図る。						
事業 概要	・ 地域福祉活動支援 ・ ボランティア活動振興・福祉学習の推進 ・ 日常生活自立支援 ・ 生活福祉資金等の貸付 ・ 高齢者・障害者施設等の運営 ・ 福祉総合相談 ・ 介護保険事業の運営 ・ 福祉人材の育成 ・ 福祉団体の活動支援						
評価対象決算期				令和6年4月1日～令和7年3月31日			

◆人員等の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①常勤役員数	2 人	2 人	2 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	2 人	2 人	2 人
②常勤役員平均年齢	69.0 歳	69.5 歳	70.5 歳
③常勤役員平均年間報酬	3,439 千円	3,412 千円	3,429 千円
④職員数	263 人	252 人	250 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	10 人	10 人	9 人
⑤職員平均年齢	49.0 歳	48.9 歳	51.5 歳
⑥職員平均年間給与	4,004 千円	4,077 千円	4,099 千円

◆主要財務データ

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①事業活動収支差額	△ 141,425 千円	△ 4,974 千円	△ 14,530 千円
②経常収支差額	△ 138,489 千円	△ 1,411 千円	△ 10,493 千円
③当期一般正味財産増減額	△ 118,738 千円	△ 9,032 千円	△ 16,798 千円
④一般正味財産期末残高	343,458 千円	343,678 千円	344,223 千円
⑤指定正味財産期末残高	543,686 千円	534,742 千円	518,872 千円
⑥正味財産期末残高	887,144 千円	878,420 千円	863,095 千円
⑦長期借入金残高	12,857 千円	12,857 千円	12,857 千円

◆市の財政的関与

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①市からの補助金	517,499 千円	544,641 千円	527,955 千円
②市からの委託料(指定管理料含む)	904,070 千円	939,878 千円	932,819 千円
③市に対する収入依存度	75.40 %	79.65 %	80.73 %
④市からの借入金	12,857 千円	12,857 千円	12,857 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和6年度事業費
地域福祉活動推進事業	・第5次地域福祉活動計画の推進 ・地区社会福祉協議会への活動支援及び活動助成等 ・コミュニティソーシャルワーカー（CSW）設置等による包括的支援体制の構築等	404,819 千円
日常生活自立支援事業	・日常生活自立支援事業の実施 ・仙台市成年後見総合センターの運営等	186,729 千円
老人福祉センター管理運営事業	・老人福祉センター4館の管理運営	169,895 千円
地域包括支援センター運営事業	・地域包括支援センター4ヶ所の運営	161,846 千円
福祉プラザ管理運営事業	・仙台市福祉プラザの管理運営	142,682 千円
通所介護事業	・通所介護（デイサービスセンター）2ヶ所の運営	106,051 千円
泉ひまわりの家管理運営事業	・泉ひまわりの家の管理運営	99,269 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	本会は、社会福祉法に規定された団体であり、住民主体の理念に基づき、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現のため、各種事業を実施している。地域福祉を取り巻く状況の変化がさらに進み、様々な地域課題への対応が求められているなかで、地区社協による見守りやサロン等の小地域福祉ネットワーク活動の推進、ボランティア活動の推進、日常生活自立支援事業など、社会福祉法の趣旨や市が本会に期待する役割を十分認識したうえで、各種事業に取り組んできた。	単身世帯の増加や価値観の多様化等により地域社会とのつながりが希薄になりつつある中、住民や関係機関等と連携し、地域の福祉課題解決に向けた取組みを計画的に推進している。地域の福祉課題はより複雑化しており、今後も地域の福祉ニーズに即した事業を展開していただきたい。
2. 業務・組織管理	引き続きコンプライアンスの徹底とガバナンスの強化を図りながら、各事業の適切な遂行に務めるとともに、今日的な住民ニーズに的確に対応するため、本会と専門機関や関連団体との連携による協働作業の仕組みををより充実させるよう取り組んでいく。 また、令和6年3月に策定した、人材育成方針を基盤として職員の資質向上に取り組み、組織体制を活性化し地域福祉の一層の推進を目指していく。	引き続き法人経営の管理体制の強化を図りつつ、効率的な事業の推進に努めていただきたい。地域福祉を推進するための中核的な団体として、住民ニーズや社会情勢の変化に迅速に対応できる事業運営に取り組んでいただきたい。
3. 財務状況	高砂デイサービスセンター及び高砂ケアプランセンターの廃止による介護保険事業収益の減少等により、当期収益が昨年度と比べて減り、効率性等を示す財務数値に影響を及ぼした。欠員が常態化するなか、必要な待遇改善を行いながら財源確保に努めていく。また、地域福祉推進のための財源である会費・寄附金収入等が減少傾向にあることから、今後も募集強化に取り組むとともに、事務費等に充当する財源の見直しを行い、経営基盤の安定を図っていく。	施設廃止による介護保険事業収益の減少等により、収支差が悪化したものの、引き続き利用者へのサービス向上等を通じた収益向上に努めていただきたい。一方、寄付金収入等が増えたことから、今後も社協活動の理解に資する周知啓発の強化等により、寄付金等の収入確保に繋げていただきたい。

4. 今後の方向性及び課題	地域課題がますます多様化・複雑化するなかにあつて、地域包括ケアシステムの構築や生活困窮者への支援等は、本会としてはその中核を担うべき重要な課題として受け止め、関係機関・団体との連携のもと、全ての人が地域で支え合いながら暮らしていける地域共生社会の実現を目指していく。 第5次地域福祉活動計画の基本理念「ともに生き、支えあうまち」の実現に向け、引き続き地域福祉の推進に取り組んでいくとともに、令和5年3月に策定した「中期経営計画2023」に基づき、組織管理体制の強化、職員の資質の向上と人材確保、経営基盤の安定強化に取り組んでいく。	地域共生社会の実現に向け、引き続き地域での福祉活動への伴走支援を行うとともに、地域の関係機関相互のネットワーク充実を図るコミュニティソーシャルワーカーの一層の活用など、地域課題解決に向けた取り組みの強化に努めていただきたい。 また、「中期経営計画2023」に基づき、安定した経営基盤の確立のための事業の財源確保や人材確保・育成など、今後を見据えた取り組みを行っていただきたい。
----------------------	---	--